

# 「知る」から始める災害への備え 防災ガイドマップで自宅の安全確認を

## 災害が起きたとき、自宅の周辺は安全ですか？

台風の接近などで大雨が降ると、河川の氾濫や崖崩れなどの恐れが高まります。近年では、雨の降り方が局地化、激甚化しており、全国各地で被害が相次ぐなど、災害はいつ、どこで起きてもおかしくありません。まずは自宅の周辺に崖崩れや浸水しそうな場所がないか、しっかりと確認しておくことが大切です。



## 安全の確認に防災ガイドマップを

### ① 防災診断

「いのち」を守るために、避難すべき場所や災害時の備え、避難時の行動を分かりやすくチェックできます。

### ② 防災マップ

市内を22のエリアに分け、お住まいの地域に応じて身近にある危険な場所を確認できる、防災マップを掲載しています。

## 防災ガイドマップで知っておきたいこと

### ① 土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害の恐れがある区域として、県により新たに指定された、土砂災害特別警戒区域(約3100カ所)と土砂災害警戒区域(約3300カ所)を掲載しています。



### ② 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

想定し得る最大規模の降雨(おおむね1000年超に1回の大雨)による洪水浸水想定区域と家屋倒壊等氾濫想定区域を掲載しています。

### ③ 避難情報の見直し

国により、「避難勧告と避難指示(緊急)」を「避難指示」に一本化するなどの見直しが行われました。避難指示はこれまでの避難勧告のタイミングで発令されますので、警戒レベル4の避難指示までに必ず避難しましょう。



ホームページからもご覧いただけます



市ホームページ



危機管理課 協 主任

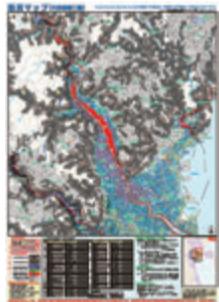
大雨・台風に備え、自宅の周辺などが安全かどうかを知ることが、自分や大切な人の命を守るにつながります。今月号と一緒に配布している防災ガイドマップを活用し、災害に備えましょう。

【危機管理課 ☎ 216・1213 FAX 216・0748】

## あなたの取るべき避難行動を確認しましょう

避難の必要があるか、事前に防災マップで確認しておきましょう。

① 防災マップで自宅がどこにあるか確認し、印を付けてみましょう



② 避難行動判定フローを活用して、取るべき避難行動を確認しましょう



### 安全なとき

#### 自宅避難

自宅が安全な場所にあるときに、自宅にとどまること。



### 危険なとき

#### 自宅外避難

自宅が土砂災害(特別)警戒区域や洪水浸水想定区域など危険な区域にあるときに、指定緊急避難場所や親戚・知人宅などの自宅外へ避難すること。



## 動画でも配信します

防災ガイドマップの見方を分かりやすく解説した動画を公開しています。市HPからご覧ください。



スマートフォンなどで手軽に情報を入手できます

LINEで避難情報などを配信

現在、「鹿児島市LINE公式アカウント」で防災情報などを配信しています。

問広報課 ☎ 216・1133 FAX 216・1134



アカウント登録

## 避難所の場所や混雑状況の情報を入手

スマートフォンやパソコンから、各避難所の場所や混雑状況のほか、自分の位置情報から最寄りの避難所を地図(Googleマップ)で確認できる、「避難所混雑状況情報提供システム」の運用を開始します。

問地域福祉課 ☎ 216・1244

FAX 223・3413



システムページ  
市LINE公式アカウントからも



近くの避難所や混雑状況を調べる

## 市長からのメッセージ

### 新型コロナウイルス接種を進めてまいります

本市の新型コロナウイルスワクチン接種が、先月から本格的に始まりました。全国一斉に進められているこのワクチン接種は、発症の予防や重症者などの発生をできる限り減らすことを目的としています。また、療養者数の増加に伴い病床占有率が高止まりしている中、医療機関の負担を減らし、感染防止策の支柱である医療体制の維持につながる対策としても期待されています。

本市では必要なワクチンの量を確保しており、医療機関の皆さんのご協力のもと、希望する方に着実に接種していただき、市民生活の安心安全を取り戻せるよう、全庁的な体制を進めているところです。

コールセンターへの予約の電話がながりにくいという声も寄せられ、大変申し訳なく思っております。市の地域福祉館などでは、混雑時の週末に市社会福祉協議会のご協力で予約支援を行っています。混雑緩和のため、24時間受付のインターネットでのご予約に引き続きご協力願いますとともに、その際のご家族や周囲の方のお力添えも重ねてよろしくお願いいたします。



鹿児島市長 下鶴隆央